

研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

MRSAによる人工関節周囲感染に対する各抗MRSA薬の有効性と経済性に関する検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2008年4月から2018年3月の期間内に昭和大学横浜市北部病院に入院し、バンコマイシン（バンコマイシン塩酸塩点滴静注）、ダプトマイシン（キュビシン静注用）、またはリネゾリド（ザイボックス注射液）が投与された方。

2. 研究目的・方法

現在、日本人を対象としたMRSAによる人工関節周囲感染に対する、バンコマイシン、ダプトマイシン、およびリネゾリドの効能の優劣は明らかではない。抗MRSA薬により感染が鎮静化しない場合には人工関節を抜去する可能性もあり、患者のQOLの低下や追加の費用負担がかかる。そのため、人工関節周囲感染を発症した場合に、最適な薬物療法を実施するためにはバンコマイシン、ダプトマイシン、およびリネゾリドの効能の優劣および経済性を明らかにすることは臨床的な意義が大きい。そこで、本研究では日本人を対象とした人工関節周囲感染に対するバンコマイシン、ダプトマイシン、およびリネゾリドの効能の優劣および経済性を明らかにすることを目的とし、後ろ向きカルテ調査を実施する。

研究期間

昭和大学横浜市北部病院臨床試験審査委員会承認後、病院長の研究実施許可を得てから2025年3月まで。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢（生年月日）、性別、初回発病年齢、発症年月日（診断日）、罹患期間、全入院期間、培養結果、外科処置の内容、使用したバンコマイシン、ダプトマイシン、リネゾリドの投与量および投与期間、合併症・既往歴の有無、疾患名、併用薬の薬剤名、投与量、投与経路、投与理由、投与期間、血液学的検査結果（赤血球数、ヘモグロビン量、ヘマトクリット値、白血球数、血小板数、AST、ALT、ALP、LDH、 γ -GTP、総ビリルビン、BUN、クレアチニン等）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及

び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先（研究責任者）：

所属：昭和大学横浜市北部病院薬剤部（薬学部 病院薬剤学講座） 氏名：染谷 梨沙

住所：224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号：045-949-7000